

目標達成計画

作成日: 令和3年3月23日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	地域密着型サービスとして果たす役割を踏まえた理念作りが必要。すべての職員で共有できる取り組みの実践。	地域密着型サービスとしての役割を踏まえた理念作り。	共通認識をもって理念の実践に繋げていけるように、法人理念、三碓の里の理念を毎日の朝礼で唱和。また自己確認できるように事務所や玄関先にも理念の掲示を行う。	12ヶ月
2	2	運営精神会議は、家族・地域包括支援センター、民生委員などの参加はあるが地域住民の参加ができていない。	運営推進会議において地域の方に参加頂き、地域の理解と支援に働きかける関わりを行っていく。	参加して頂けるように、自治会への働きかけを行い、施設の啓発活動を行う。	12ヶ月
3	3	施設内において年に2回火災や地震を想定した避難訓練を実施しているが、地域住民が参加されていない。	訓練において地域住民や消防署などの連携を図り協力体制を築いていける取り組みを行う。	地域の防災訓練などにも参加をしているので、連携を図り参加して頂けるように働きかける。また勉強会などにも参加して頂く機会を設ける。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。